発行元：日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会　　2016年（平成28年）　9月15日　№74

今月のシーニック・バイウェイ

磯力でやっちょっど！東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り 2016

今年も、9月2日から11月30日の期間で「東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り’16」が始まりました。写真は9月2日延岡市北浦町で佐伯・延岡市長をお招きして開催した「敬老の日イベント抽選会＆食事会」の模様です。

「えーーーーびっ！！」のかけ声で記念撮影。　　写真提供：佐伯市観光協会

地域資源（宝）の紹介コーナー

地域で活動する人

◆清水　聡（ｼﾐｽﾞ ｻﾄｼ）さん　　～産地芸能人の会　代表者～

清水　聡さん

以前は、大分県国際交流大使を務めジャマイカ、カンボジア、タイとの交流に尽力されるとともに、一村一品運動として「かまえグルメの会」で活躍。日豊海岸シーニック・バイウェイでは「産地芸能人の会」の代表を務めていらっしゃいます。

趣味は読書だそうで、若い頃は三島由紀夫やモーパッサンなど古今東西を問わずいろいろと読まれましたが、最近は藤沢周平の作品がお気に入りだそうです。もちろん、地元蒲江出身の芥川賞作家小野正嗣さんの作品も楽しまれているとか。今、心ひかれているのは竹下夢二の詩集だそうです。

産地芸能人の会とは：
蒲江地域の産品の販売促進のための宣伝部隊。各種イベントに参加し、広報活動に努めています。

そこはかとなく文学の香りを漂わせた清水代表。
「年齢に負けることなく気持ちだけは前向きに元気で地元のお役に立ちたい。」
と力強く語っていただきました。

歴史・文化・自然・景観資源

◆京塚の庚申塔群（佐伯市蒲江）　蒲江ICから車で30分

庚申塔群

庚申塔（ｺｳｼﾝﾄｳ）は、庚申の夜に体内から抜け出した虫が天帝に人の罪を告げ、命を縮めることのないよう徹夜する庚申待にからんで造立されたもので、その起こりは中国の道教（ﾄﾞｳｷｮｳ）の影響によるものです。

庚申塔は、像塔と文字塔に大別することができます。像塔は、一面六臂（ｲﾁﾒﾝﾛｯﾋﾟ）の青面金剛（ｼｮｳﾒﾝｺﾝｺﾞｳ）と日月（ｼﾞﾂｹﾞﾂ）、二鶏（ﾆｹｲ）・三猿（ｻﾝｴﾝ）を刻したものが多く、文字塔では青面金剛とか庚申塔などと記したものが多い。この庚申塔群は、花崗岩が主で瀬戸内方面から海上輸送されたものであり、製作年代は、元禄（ｹﾞﾝﾛｸ）時代が中心です。

これらの庚申塔は、この時代の漁民の生活もある程度潤い阪神、瀬戸内方面との交易が盛んであった証でもあります。　　（蒲江町教育委員会立て看板より）

◆のじぎく（里の駅たかひら展望公園 / 佐伯市蒲江）　蒲江ICから車で15分

のじぎく

11月の「のじぎく祭り」でのお披露目を目指して指定管理者「かまえブルーツーリズム研究会」のもと、地元ボランティアや小学生らによる水やりなどの育成を行っています。

見頃は11月中旬です。

食

◆伊勢えび

活きのいい「伊勢えび」

秋の食と言えばやはり伊勢えび。９月１日に漁が解禁され、９月２日から１１月３０日までの間、**「東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り’１６」**が開催されます。豊後水道・日向灘の日豊リアス式海岸の海道筋で水揚げされた伊勢えびはぷりぷりとした食感でとても美味しいです。

また、「伊勢えび」は古くから長い髭と腰の曲がった姿から、長寿を祝う縁起物として扱われています。

旬の「伊勢えび」、存分に味わって下さい！

◆「ひむか本サバ　海幸！山幸！三種のイチオシ飯！」

ひむか遊パークうみウララエリアの料理人と生産者の連携のもと、うみウララの新しい食の魅力となる「ひむか本サバ　海幸！山幸！三種のイチオシ飯！」が誕生しました。

北浦町で育てられた宮崎県水産物ブランド「ひむか本サバ」を活用したこの押し飯は、北浦産のイカ、北川産の梅、北方産のタケノコが使われています。

８月に宮崎市で開催されたグルメイベントで初めてお披露目され、大変好評だったため、**改良を加え、来年の１月中旬頃、正式にお披露目予定です。お楽しみに！！**

左から「北浦産イカ」「北川産梅」「北方産筍」の「押し寿司」です！

ひむか本サバ　海幸！山幸！三種のイチオシ飯

お知らせ

◆第3回北浦杯　釣りガール エギング選手権開催

今年も「女性限定」（半数以上の女性同伴なら男性も参加OKです）の「第3回北浦杯釣りガールエギング選手権」が11月13日（日）延岡市北浦町宮野浦漁港で開催されます。前日の11月12日（土）には道の駅北浦で「前日レセプション」も行われます。

釣り船内にもトイレが完備、渡船での陸上トイレへの案内もOKとなっており、女性の方も安心して参加頂けます！

申込期間は9月1日～10月15日までとなっております。

詳しくはひむか遊パークうみうららのHPをご覧下さい。

http://www.nobekan.jp/umiurara/

昨年の開催案内チラシ

お知らせ

◆東九州伊勢えび海道’16フォトコンテスト

東九州伊勢えび海道’16ではフォトコンテストの写真の募集をしています。

昨年度フォトコンテスト作品
タイトル「蒲江の白いさざ波」

募集対象：東九州伊勢えび海道筋（佐伯海道筋～延岡海道筋）を撮影したもの

入賞景品：伊勢えび賞 1名、特産品賞 6名 表彰されます。

参加資格：「日豊リアス式海岸をこよなく愛する方ならどなたでも」

詳しくは、東九州伊勢えび海道のHPをご覧下さい。

http://higashi-iseebi.jp/

シーニック・バイウェイとは：

アメリカが発祥で景観のよい（シーニック）、寄り道（バイウェイ）と言う意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる138のルートがあります。九州には14のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ（蒲江・北浦大漁海道）」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。

日本風景街道

◆ 日豊海岸シーニック・バイウェイ（蒲江・北浦大漁海道）のホームページ ◆

URL：http://nippou-kaigan.kirara.st/

旬の情報を毎月発信中　皆様からの情報提供をお待ちしております。

問い合わせ先

日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-0848 大分県佐伯市城下東町8-19（佐伯市観光協会内）

tel 0972-23-1101　fax 0972-23-1146

（行政側問い合わせ先）

佐伯河川国道事務所　工務課　tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

延岡河川国道事務所　調査第二課　tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489